

## 【秀逸】

4億は6億よりもややこしい

島崎 穂花

4億陸山会の手紙購入に充てたといつ出版不明金、6億鳩山総理のメーさんマネー、庶民には美感が乏しかったいぢめんおもしろい数字。本誌発行時は珍種情報也。

## 【秀逸】

孤独死のように大臣辞任する

藤井 蛸舟

鳩山團最偉大の藤井財務相が辞任。理由も健康とていつ公式の発表以外に、何やらもやもやしたももの縁られるが、孤独死という捉え方いかにも適切さまい。

へその緒を金蔓にする鳩山家

島崎 肇

同じ金蔓でもいろいろ金蔓り方、繋がり方があるが、へその緒からの延長はその本来金蔓になっているといつのは、世界でも日本のお坊やま盲相づらいなものでなろう。

さくらやの安さ爆発して消える

鈴木 寿子

量販店のハシリともいふべきさくらやが、相対く爆発の果に、妻を待たずに花を散らしてしまつた。テレビ・マイシャルを巧みに読み込んだテラツクはなかなか。

宝船コトモ店長乗せてくる

山口 早苗

〇九年の流行語大賞第二位の「政権交代」とともに人気を集めた、「コトモ店長」一頃のスポーツ界で騒がれた、「王子」さま並みに、本姓は、「コトモ」ブームか。

〇九年の年末から一〇年の年頭にかけて、普天間基地問題などを含めて、特に新政権・民主党内のゴタゴタが続き、現在は小沢一郎幹事長の辞任が続投かが、焦眉の急になつている。本誌制作中にも事態は急変するかもしれない。

つぎに尾を引いたのはJAL関連のニュース、デフレはまだ模様見の段階、新しいのは大相撲で、貴乃花の一門脱退、大関魁皇の勝星累算新記録などに加えて、横綱朝青龍の泥酔・暴力事件と盛り沢山だつたが、作品の完成度がいま一といつところで、入選にはいたらなかつた。

作品の斬れ味に一番のわざわいとなるのが、中途半端な作者の小主観である。もちろん作者に意見がなくてならぬが、それは言葉に出さず、作品によつて読者と分かち合えばよい。

|                   |      |
|-------------------|------|
| 神よりも世田谷に行く初詣      | 鈴木壽子 |
| 特搜の腕が入った福袋        | 同    |
| 日航の株で切ない落ち葉焚き     | 鈴木壽子 |
| 陸山会越山会の真似をする      | 同    |
| 茶封筒とところによって紙袋     | 山口早苗 |
| 叩くたび出るタイガーのスキャンダル | 同    |
| 敦煌の夕陽を去っていく画伯     | 同    |
| 株券が散る日航の寒夕陽       | 同    |
| ユニクロが独り占めする福袋     | 島崎肇  |
| 危機感が臨場感になる民主      | 同    |
| 野口さん沖縄の基地見ましたか    | 同    |
| 物言つて物議を醸す財務省      | 島崎穂花 |
| 劇場が終わると寒い民主党      | 同    |
| 大関と与党に続く綱渡り       | 同    |
| 海の家みたいで冬の派遣村      | 佐藤隆貴 |
| 別姓の妻が他人に見えてくる     | 同    |
| 中国の隣の国にされていた      | 同    |
| 東証の窓から墮ちる日航機      | 藤井蛭舟 |

|                  |        |
|------------------|--------|
| 検察も小沢詣での列に居り     | 同      |
| 普天間で新高山は登れない     | 佐々木福太郎 |
| 竹島が波に沈んだ日本地図     | 同      |
| 国交相蜂の巣城に槍を入れ     | 斉藤ふじお  |
| 新政権線路の脇を走ってる     | 同      |
| 回答が回文になるダムはムダ    | 足立俊夫   |
| お隣が友愛の蜜唄ぎに来る     | 小野崎帆平  |
| 楽しみは千円以下のオークション  | 小田由実   |
| ぼやき節名伯楽が老いて去る    | 久保昭二   |
| モザイクが亀裂に変わる新政権   | 白川楽人   |
| いらなと言えない基地に地図がない | 尾藤一泉   |
| 落ちていく夕陽が詰まる福袋    | 吉川一男   |
| 佑ちゃんへ鶉の目鷹の目ファンが目 | 二宮茂男   |
| 死に至る病平成デフレ調      | 三浦哲夫   |
| ぬるま湯の温度を上げる貴乃花   | 川村雄一   |
| 本気度の見えない総理ぶれてくる  | 齊木美佐緒  |
| 十一億雲の上ではそんなとこ    | 益子善二郎  |
| 特搜の小沢つぶしが止まらない   | 塩見佳代   |